



体験ワークショップ

550万DX実現への道

世界トップレベル・デジタル企業への挑戦

Open AI 活用による みんなのデジタル化 Stage II の実現

2023年 9月 6日
日本マイクロソフト



操作体験の目的

- 社内情報をソースに ChatGPT 活用する事で「働き方変革」を加速できる可能性を理解頂く
- 実現方法のシステム全体感を理解頂き、今後準備すべきポイントを理解頂く

操作体験頂くシナリオ

- 1) 社内情報、ノウハウを情報ソースとして ChatGPT で検索、回答を得る
- 2) 社内情報をソースとして、報告書等の資料のドラフトを ChatGPT で作成する
- 3) 社内ドキュメントのレビューを ChatGPT で行う

タイムテーブル

ご参加者の皆様に PC 持参頂き、操作体験用テナントへアクセス頂きます。
現地参加者のネットワークアクセスは MS 側で準備致します
リモート参加者の参加 URL は別途連絡致します

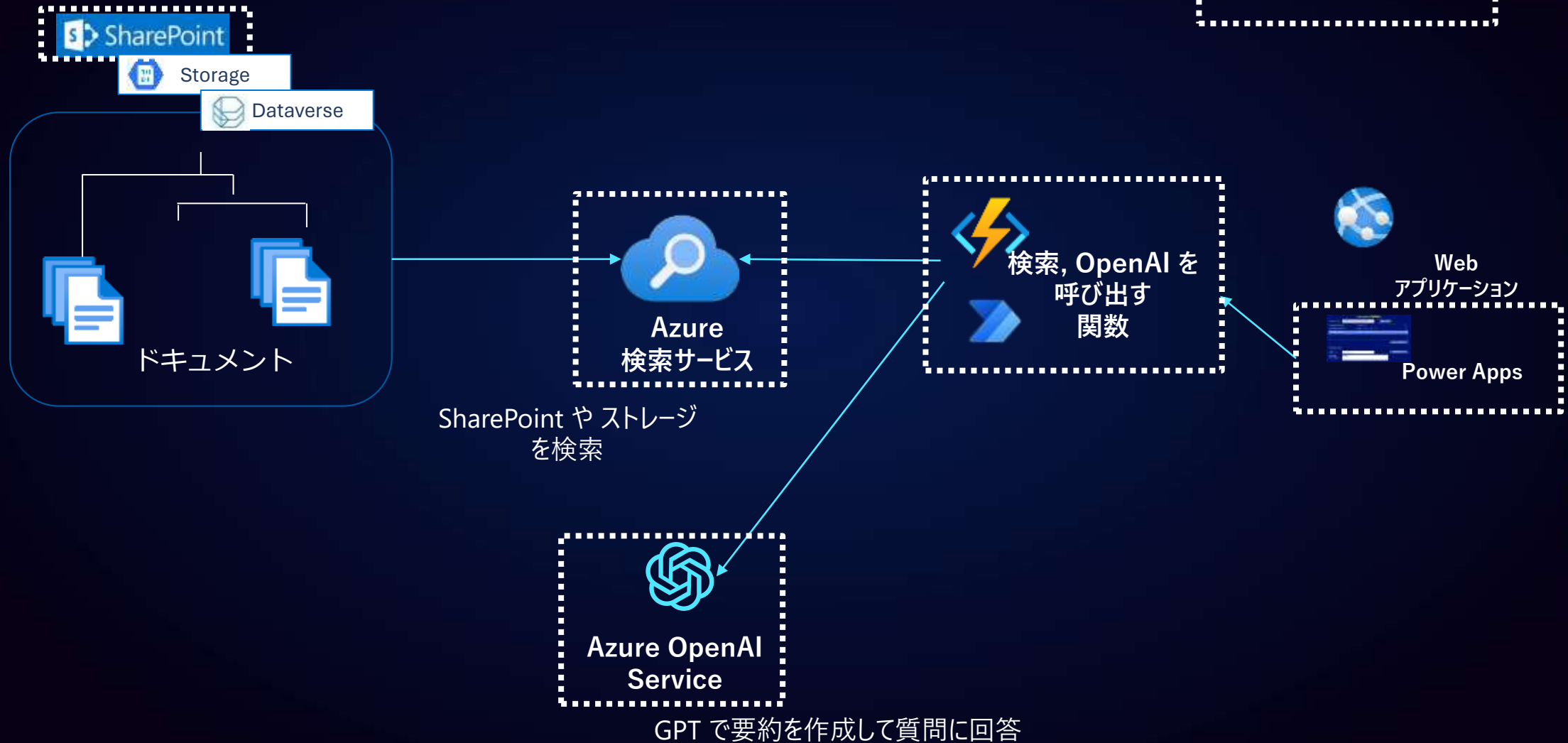
0	受付、PC 設定（持参頂く PC から体験用テナントへアクセス確認）	14:45 -	15分
1	ご挨拶	15:00 -	5分
2	Open AI 最新動向、他のお客様先行事例ご紹介		25分
3	操作体験①：社内情報、ノウハウ等を ChatGPT で検索、回答を得る		20分
4	操作体験②：報告書等の資料のドラフトを ChatGPT で作成する		15分
	休憩		10分
5	操作体験③：ドキュメントのレビューを ChatGPT で行う		15分
6	Microsoft 365 Copilot デモ		20分
7	全体を通しての質疑、ラップアップ	- 17:00	10分
8	懇親会	17:00 - 18:30	

現地会場：日本マイクロソフト 中部支店
名古屋市西区牛島町 6-1 名古屋ルーセントタワー 21F

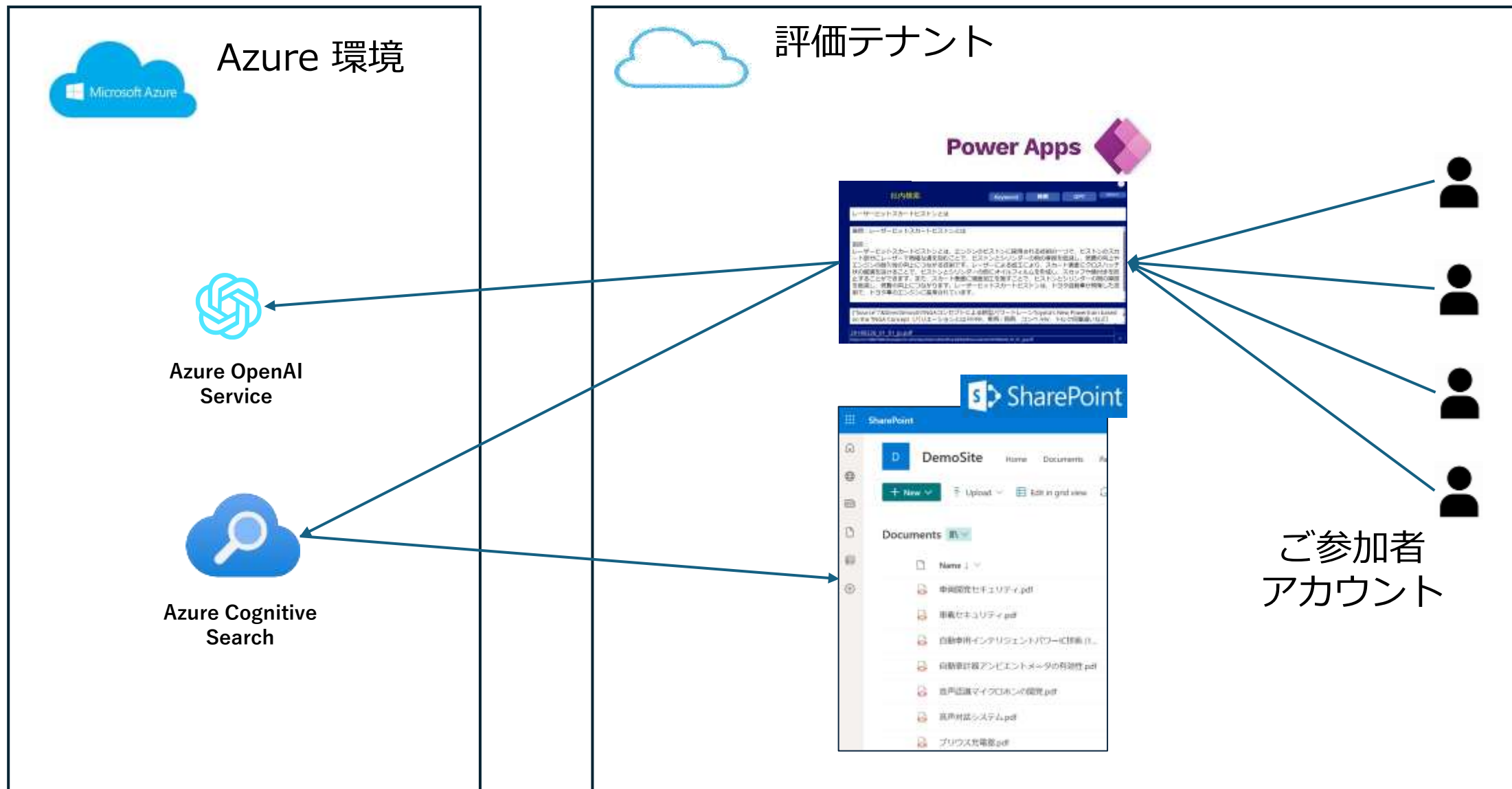
操作体験 本日の環境説明

社内情報をソースとして ChatGPT 活用する際の構成例

今回体験頂く構成



操作体験 本日の環境



では
テナントにアクセス

評価テナントへのログイン



	メールアドレス	パスワード
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		



Power Apps, SharePoint へのアクセス

The image illustrates the access paths to SharePoint and Power Apps from the Microsoft 365 app launcher. A red dashed box highlights the 'SharePoint' and 'Power Apps' icons in the app launcher. Red dashed arrows point from these icons to the corresponding interfaces shown on the right.

Microsoft 365 App Launcher (Left):

- Outlook
- OneDrive
- Word
- Excel
- PowerPoint
- OneNote
- SharePoint** (highlighted)
- Teams
- Yammer
- Power Auto...
- Power Apps** (highlighted)

SharePoint Interface (Top Right):

SharePoint DemoSite Home Documents Pages Res...

+ New Upload Edit in grid view Sync

Documents

Name	Modified
AI新時代 生産性革命のご提案.pptx	July 21
PRIUS_ユーザガイド_JP_M47E40_1_2301.pdf	July 18
PRIUS_取扱書202110.pdf	July 18

Power Apps Interface (Bottom Right):

Power Apps

新しいアプリ キャンパス アプリのインポート

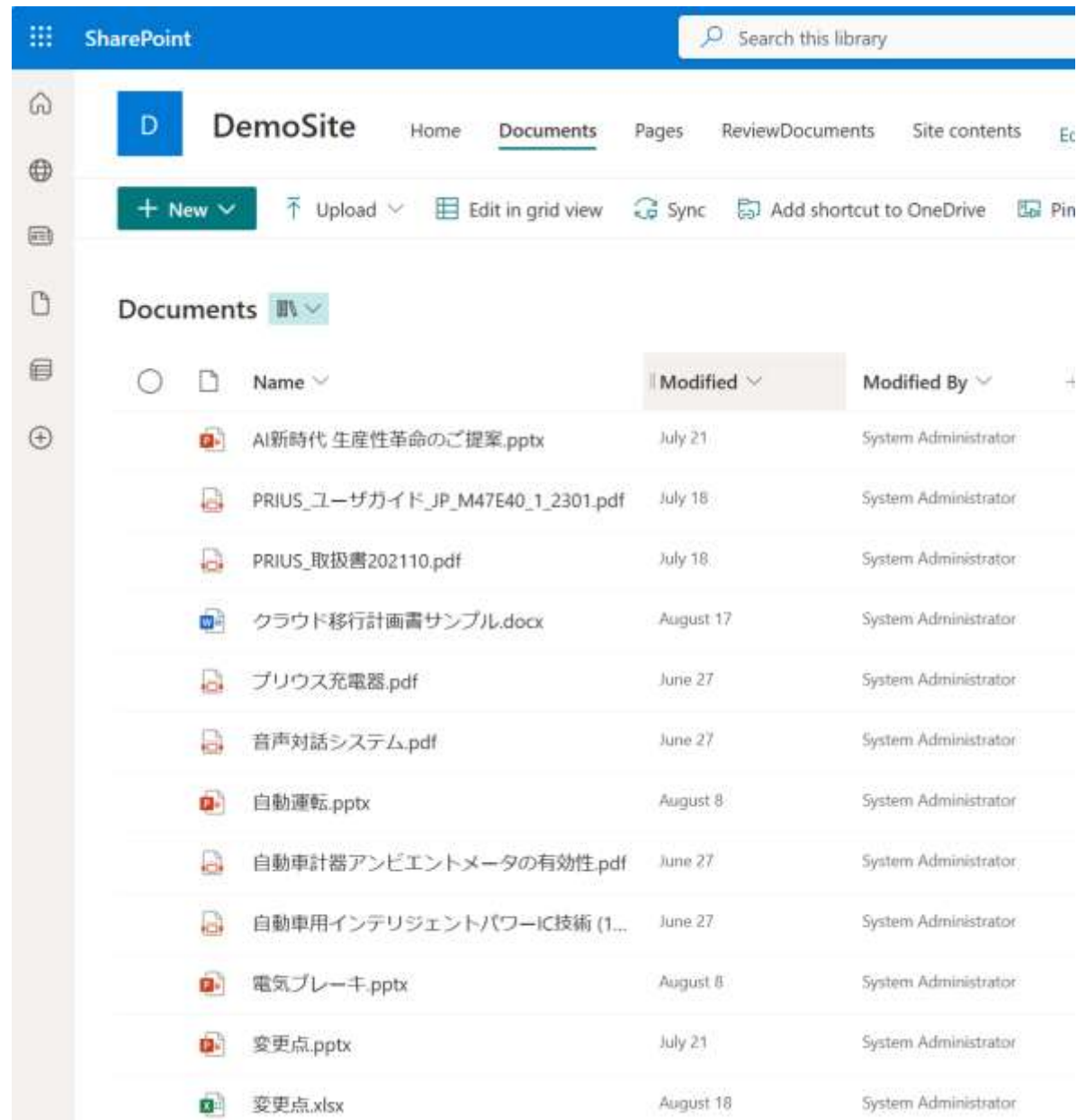
アプリ

コンポーネント ライブラリ ラップ プロジェクト

名前

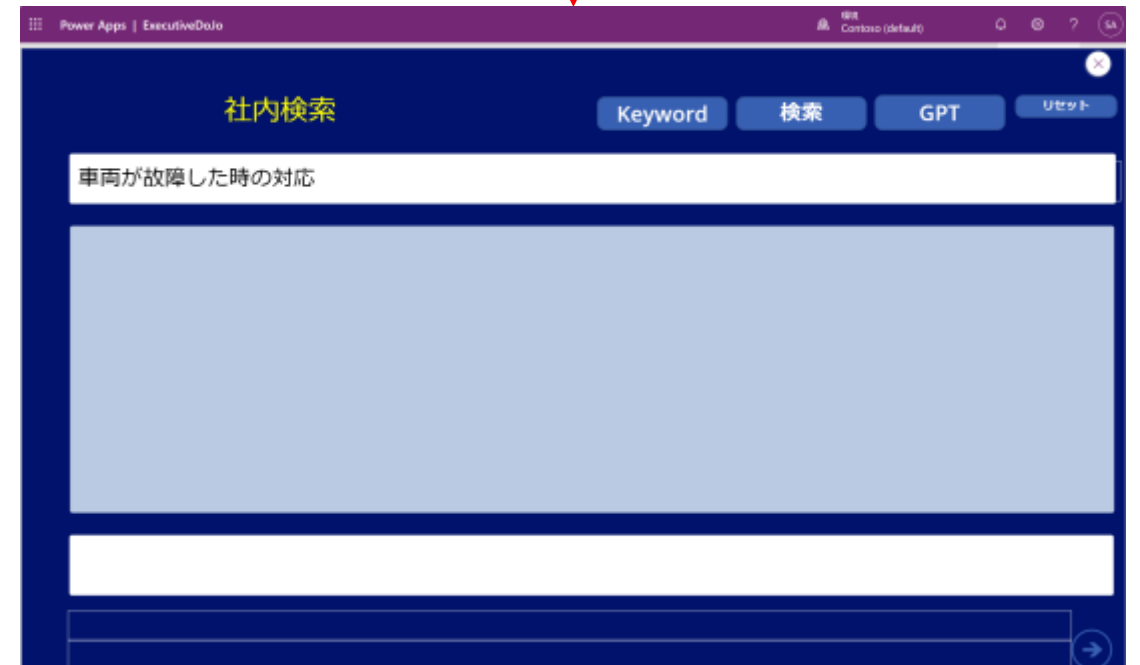
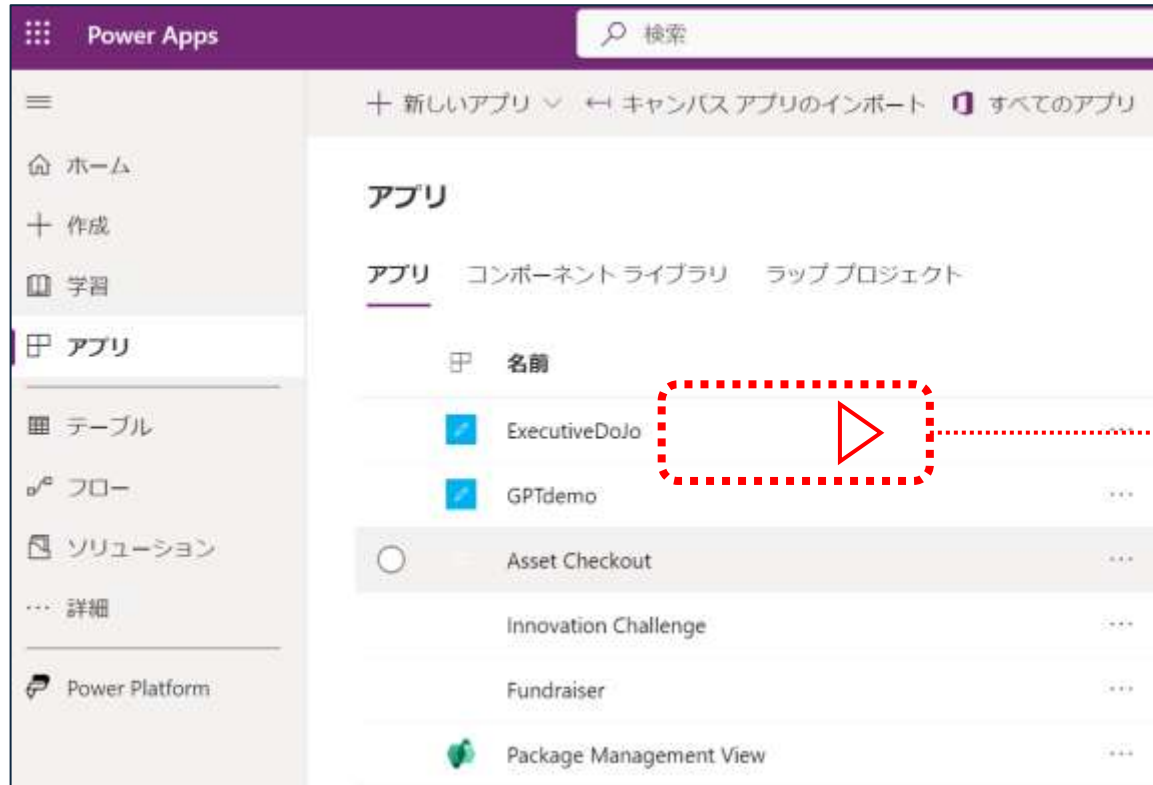
ExecutiveDojo

評価テナントの SharePoint にファイルを置きました



これらのファイルを
社内情報と想定し
GPT で質問、
ドキュメント生成、レビューを
行います

Power Apps アプリケーションを開きます



操作体験①

社内情報、ノウハウ等を
ChatGPT で検索、回答を得る

操作体験①：社内情報、ノウハウ等を ChatGPT で検索、回答を得る

処理の流れを理解頂く為に複数ボタンに分割

- 1) 「Keyword」が質問の文字列から検索キーワードを抽出
- 2) 「検索」が SharePoint Online からキーワード検索
- 3) 「GPT」が 検索結果に対し、質問内容を GPT に投げる

社内検索

Keyword 検索 GPT リセット

車両が故障した時の対応

車両が故障した場合、まずは安全な場所に停車し、エンジンを切ります。その後、故障の原因を特定し、修理が必要な場合はトヨタ販売店に連絡して修理を依頼します。

故障した場合には、非常点滅灯（ハザードランプ）を点灯させ、発炎筒を使用して周囲に注意を喚起します。また、車両を緊急停止する場合は、ブレーキを踏みながらギアをニュートラルにし、手ブレーキを引きます。

タイヤがパンクした場合は、タイヤパンク応急修理キットを使用して応急処置を行い、トヨタ販売店で修理を依頼します。また、応急用タイヤが装着されている場合は、そのタイヤに交換します。

ハイブリッドシステムが始動できない場合は、補機バッテリーがあがっている可能性があります。補機バ

イラスト目次 イラストから検索1 安全・安心のために お客様に必ずお読みいただきたいこと2 メーターの見方 メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など3 各部の操作 ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前

PRIUS_取扱書202110.pdf
https://crm801980.sharepoint.com/sites/DemoSite/Shared%20Documents/PRIUS_%E5%8F%96%E6%89%B1%E6%9B%B8202110.pdf

質問入力

回答

回答のソースとなる
SharePoint Online
内の情報

- ① 検索、質問内容を入力します
- ② 「Keyword」をクリックします => 質問内容を検索キーワードに変換します（GPT）
- ③ 「検索」をクリックします => SharePoint 上のファイルを検索します

社内検索

Keyword 検索 GPT リセット

① 車両が故障した時の対応

車両が故障した時の対応

社内検索

Keyword 検索 GPT リセット

① Microsoft 365 Copilot の使用例は

Microsoft 365 Copilot の使用例は

- ④ SharePoint 上のファイル検索結果、ファイル名、ファイルパス、ドキュメント内のテキストが表示されます
- ⑤ 「GPT」をクリックします => ④の検索結果テキストを対象に、①の質問を GPT に投げます



⑥ GPT に質問投げかけた結果が表示されます

社内検索

Keyword 検索 GPT リセット

車両が故障した時の対応

車両が故障した場合、まずは安全な場所に停車し、エンジンを切ります。その後、故障の原因を特定し、修理が ⑥ 場合はトヨタ販売店に連絡して修理を依頼します。

故障! ⑥ これは、非常点滅灯（ハザードランプ）を点灯させ、発炎筒を使用して周囲に注意を喚起します。また、車両を緊急停止する場合は、ブレーキを踏みながらギアをニュートラルにし、手ブレーキを引きます。

タイヤがパンクした場合は、タイヤパンク応急修理キットを使用して応急処置を行い、トヨタ販売店で修理を依頼します。また、応急用タイヤが装着されている場合は、そのタイヤに交換します。

ハイブリッドシステムが始動できない場合は、補機バッテリーがあがっている可能性があります。補機バ

イラスト目次 イラストから検索1 安全・安心のために お客様に必ずお読みいただきたいこと2 メーターの見方 メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など3 各部の操作 ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前

PRIUS 取扱書202110.pdf
https://crm801980.sharepoint.com/sites/DemoSite/Shared%20Documents/PRIUS_%E5%8F%96%E6%89%B1%E6%9B%B8202110.pdf

社内検索

Keyword 検索 GPT リセット

Microsoft 365 Copilot の使用例は

質問: Microsoft 365 Copilot の使用例は

回答: Microsoft 365 Copilotの使用例は、以下に ⑥ ものがあります。

1. コンテンツ作成: 共同著者や知的エディターコマンドを使用して、文章や文書の作成をサポートします。
2. 質問/回答および要約: 知識アシスタントとして、質問に対する回答や文章の要約を提供します。
3. コラボレーション: チームのファシリテーターとして、チームメンバーのコラボレーションを支援します。
4. 提案/通知: 創作のヒントや提案を行うコーチとして活用できます。
5. 情報抽出系: テキストの要約やエンティティの抽出、感情分析などの機能を提供します。

AI新時代生産性革命のご提案2023年7月日本マイクロソフト株式会社Data & AI© Microsoft Corporation.
All rights reserved. MICROSOFT MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, AS TO

AI新時代 生産性革命のご提案.pptx
https://crm801980.sharepoint.com/sites/DemoSite/_layouts/15/Doc.aspx?sourcedoc=%7BEB7B8D95-651D-457B-82BB-

先の情報を検索対象に加え、ベテランの知見、知識を問い合わせる

社内検索

Keyword 検索 GPT リセット

トルクダウン設定の懸念点

質問：トルクダウン設定の懸念点

回答：[#質問]トルクダウン設定の懸念点について

1) アクセル踏み込み時に応答遅れる可能性があります。
- 原因：同期手前の入力トルクを下げることで遅延が生じる可能性があります。
- 防止方法：第一トルクダウンと第二トルクダウンと第二トルクダウンのトータルで現状より遅延を減らす。
- 確認項目：ユースケース評価にて複数のパターンを確認します。

変更内容トルクダウン量を2段階に分ける変更がある原因：ショック低減の為に同期手前の入力トルクを下げた。

変更点.pptx
https://crm801980.sharepoint.com/sites/DemoSite/_layouts/15/Doc.aspx?sourcedoc=%7B88711708-55FF-43E0-94A3-

社内検索

Keyword 検索 GPT リセット

電気ブレーキの懸念点

質問：電気ブレーキの懸念点

回答：[#質問]電気ブレーキの懸念点

電気ブレーキの懸念点は以下のようになります：

1. 高速域での減速度の変更による回生電力の増加：高速域で高い減速度を得るためには、回生電力が大きくなる可能性があります。これにより、大容量の機器を装備する必要が生じる可能性があります。回生制動時の電力を低く抑えることで、回生率を向上させることが有効です。

2. ブレーキパターンの変更による運転曲線への影響：高速域での減速度が低くなることにより、ブレーキ制御としてモデル予測制御を検討 機械学習の一種である強化学習 (Reinforcement Learning) も登場し、自らの評価を基に適応していくアルゴリズム

変更点.xlsx
https://crm801980.sharepoint.com/sites/DemoSite/_layouts/15/Doc.aspx?sourcedoc=%7B88711708-55FF-43E0-94A3-

操作体験②

報告書等の資料のドラフトを ChatGPT で作成する

操作体験②：報告書等の資料のドラフトを ChatGPT で作成する

- 1) 文章の読み手、目的、内容、構成を指定する
- 2) 「文章の内容」を SharePoint Online からキーワード検索
- 3) 2) の検索結果をソースに、1) の読み手、目的、構成をプロンプトに設定し GPT に投げる

文章の読み手、
目的を指定

文章の内容を指定

ドキュメント生成

文章の読み手
文章の目的

お客様

お客様へのご案内

文章の構成

何についての報告なのかを伝える (Title)

結論を伝える (Summary)

理由や経緯・詳細を伝える (Detail)

根拠となる情報ソースの URL を伝える (Source)

報告内容をまとめる (Summary)

生成

リセット

文章の内容
車両が故障した時の対応

【Title】車両が故障した場合の対応方法について

【Summary】本文書では、車両が故障した場合の対応方法について説明します。故障時には、まずは安全に車両を停止させ、必要に応じてトヨタ販売店に連絡し、修理を依頼することが重要です。

【Detail】
車両が故障した場合、以下の手順で対応してください。

1. 非常点滅灯（ハザードランプ）を点灯させ、車両を安全に停止させます。
2. 発炎筒を使用して、周囲に注意を喚起します。
3. 必要に応じて、トヨタ販売店に連絡し、修理を依頼します。
4. 故障内容によっては、トヨタロードサービスを利用することもできます。トヨタロードサービスには、24時間対応

文章の構成を
指定

作成
ドラフト

- ① 作成する文章の内容（タイトル）を入力します => 入力された内容をキーワードに社内情報を検索
- ② 文章の読み手、目的を入力します => プロンプトに渡します
- ③ 文章の構成を入力します => プロンプトに渡します
- ④ 「生成」をクリックします => ①の検索結果から、②、③の指定内容をプロンプトに GPT 渡します

ドキュメント生成

文章の読み手: お客様 ②

文章の目的: お客様へのご案内

文章の構成: ③

- 例についての概要的なものを伝える (Title)
- 結論を伝える (Summary)
- 理由や経緯・詳細を伝える (Detail)
- 根拠となる情報ソースの URL を伝える (Source)
- 報告内容をまとめる (Summary)

文章の内容: ① 車両が故障した時の対応

生成 リセット ④

文章の内容 車両が故障した時の対応

ドキュメント生成

文章の読み手: お客様 ②

文章の目的: お客様へのご案内

文章の構成: ③

- 例についての説明的なものを伝える (Title)
- 結論を伝える (Summary)
- 理由や経緯・詳細を伝える (Detail)
- 根拠となる情報ソースの URL を伝える (Source)
- 報告内容をまとめる (Summary)

文章の内容: ① Microsoft 365 Copilot の使用例

生成 リセット ④

文章の内容 Microsoft 365 Copilot の使用例

⑤ GPT に文章生成を投げかけた結果が表示されます

ドキュメント生成

文章の読み手
文章の目的

お客様

お客様へのご案内

文章の構成

何についての報告なのかを伝える (Title)

結論を伝える (Summary)

理由や経緯・詳細を伝える (Detail)

根拠となる情報ソースの URL を伝える (Source)

報告内容をまとめる (Summary)

文章の内容

車両が故障した時の対応

⑤

【Title】 車両が故障した場合の対応方法について

【Summary】 本文書では、車両が故障した場合の対応方法について説明します。故障時には、まずは安全に車両を停止させ、必要に応じてトヨタ販売店に連絡し、修理を依頼することが重要です。

【Detail】
車両が故障した場合、以下の手順で対応してください。

1. 非常点滅灯（ハザードランプ）を点灯させ、車両を安全に停止させます。
2. 発炎筒を使用して、周囲に注意を喚起します。
3. 必要に応じて、トヨタ販売店に連絡し、修理を依頼します。
4. 故障内容によっては、トヨタロードサービスを利用することもできます。トヨタロードサービスには、24時間対応

ドキュメント生成

文章の読み手
文章の目的

お客様

お客様へのご案内

文章の構成

何についての説明なのかを伝える (Title)

結論を伝える (Summary)

理由や経緯・詳細を伝える (Detail)

根拠となる情報ソースの URL を伝える (Source)

報告内容をまとめる (Summary)

文章の内容

Microsoft 365 Copilot の使用例

⑤

【Title】 Microsoft 365 Copilot の使用例

【Summary】 Microsoft 365 Copilotは、生産性を向上させるためのAIアシスタントです。この記事では、Copilotの使用例について説明します。

【Detail】
Microsoft 365 Copilotは、AIテクノロジーを活用して、さまざまな業務において生産性を向上させることができます。以下に、Copilotの使用例をいくつか紹介します。

1. コンテンツ作成: Copilotは、共同著者や知的エディターコマンドをフル活用して、文章やコード、プレゼンテーションなどのコンテンツを作成するサポートをします。また、質問/回答や要約などの機能を使って、理解を深めるための知識アシスタントとしても活用できます。

操作体験③

社内ドキュメントのレビューを
ChatGPT で行う

操作体験③：社内ドキュメントのレビューを ChatGPT で行う

- 1) SharePoint Online 上のレビュー対象を選択
- 2) レビューポイントを指定
- 3) SharePoint Online から対象ファイルを検索
- 4) 3) の検索結果をソースに、2) のレビューポイントをプロンプトに設定し GPT に投げる

SharePoint Online
のレビュー対象
を選択

ドキュメントレビュー

20180220_01_01.jp.pdf
PRIUS_ユーザガイドJP_M47E40_1_2301.pdf
PRIUS_取扱書202110.pdf

レビューポイント 安全性
故障時
自動運転

PRIUS_取扱書202110.pdf

ドキュメントサマリー

次からも検索が可能です。

続き：この文章は、トヨタ自動車の車両に搭載された様々な装備や機能について説明しています。安全性に関しては、クリアランスソナーやパーキングサポートブレーキ、S-IPAなどの装置があります。故障時には、非常点滅灯や発炎筒、けん引などの対処法があります。自動運転に関しては、運転を補助する装置があります。また、寒冷時の運転やエアコンの使い方、室内装備の使い方なども説明されています。ただし、装備や仕様は車種によって異なるため、注意が必要です。

レビュー結果

“トヨタ自動車の車両に搭載された様々な装備や機能について説明している文章です。文章は、安全性、故障時、自動運転についての情報が含まれており、以下の8つのセクションに分かれています。1.安全・安心のために、2.メーターの見方、3.各部の操作、4.運転、5.室内装備・機能、6.お手入れのしかた、7.万一の場合には、8.車両情報。各セクションには、車の安全性、操作方法、運転支援装置、車両情報などに関する情報が含まれています。また、イラストが多数含まれており、目次からも検索が可能です。”

“安全性に関しては、クリアランスソナーやパーキングサポートブレーキ、S-IPAなどの装置があります。しかし、安全性についての詳細な説明がないため、改善の余地があると思われます。”

“故障時には、非常点滅灯や発炎筒、けん引などの対処法があります。しかし、故障時についての詳細な説明がないため、改善の余地があると思われます。”

レビューポイント
を指定

レビュー
結果

- ① レビュー対象とするドキュメントを選択します
- ② レビューポイントを入力します => プロンプトとして GPT に渡します
- ③ 「レビュー」をクリックします => ①で選択したドキュメントに対し②をプロンプトとして GPT に投げます

The screenshot shows the 'ドキュメントレビュー' (Document Review) interface. A red dashed box labeled ① highlights the document selection area, which includes a list of documents: 'PRIUS_ユーザーガイド JP_M47E40_1_2301.pdf', 'PRIUS_取扱書202110.pdf', and 'PRIUS_取扱書202110.pdf'. A red dashed box labeled ② highlights the review points input area, which includes a dropdown menu and a text input field. A red dashed box labeled ③ highlights the 'レビュー' (Review) button. The interface also includes a 'リセット' (Reset) button and a 'レビュー結果' (Review Result) section.

This close-up shows the document selection area with 'PRIUS_取扱書202110.pdf' selected. The review points input area shows a dropdown menu with '安全性' (Safety) selected and a text input field containing '故障時' (During failure) and '自動運転' (Autonomous driving).

The screenshot shows the 'ドキュメントレビュー' (Document Review) interface. A red dashed box labeled ① highlights the document selection area, which includes a list of documents: 'PRIUS_取扱書202110.pdf', 'AI新時代 生産性革命のご提案.pptx', and 'AI新時代 生産性革命のご提案.pptx'. A red dashed box labeled ② highlights the review points input area, which includes a dropdown menu and a text input field. A red dashed box labeled ③ highlights the 'レビュー' (Review) button. The interface also includes a 'リセット' (Reset) button and a 'レビュー結果' (Review Result) section.

This close-up shows the document selection area with 'AI新時代 生産性革命のご提案.pptx' selected. The review points input area shows a dropdown menu with 'メリット' (Merits) selected and a text input field containing '使用例' (Usage examples) and '価格' (Price).

④ SharePoint 上のファイル検索結果、ファイル名、ファイルパス、ドキュメント内のテキストが表示されます

⑤ 「GPT」をクリックします => ④の検索結果テキストを対象に、①の質問を GPT に投げます

ドキュメントレビュー

レビュー リセット

20180226_01_01.pptx
PRIUS_ユーザガイド_JP_M47E40_1_2301.pdf
PRIUS_取扱書202110.pdf
PRIUS_取扱書202110.pdf

レビューポイント 安全性 0.1
故障時 0.1
自動運転

ドキュメントサマリー

④ 次からも検索が可能です。

続き：この文章は、トヨタ自動車に搭載された様々な装備や機能について説明しています。安全性に関しては、クリアランスソナーやパーキングサポートブレーキ、S-IPAなどの装置があります。故障時には、非常点滅灯や発炎筒、けん引などの対処法があります。自動運転に関しては、運転を補助する装置があります。また、寒冷時の運転やエアコンの使い方、室内装備の使い方なども説明されています。ただし、装備や仕様は車種によって異なるため、注意が必要です。

レビュー結果

⑤ “トヨタ自動車の車両に搭載された様々な装備や機能について説明している文章です。文章は、安全性、故障時、自動運転についての情報が含まれており、以下の8つのセクションに分かれています。1.安全・安心のために、2.メーターの見方、3.各部の操作、4.運転、5.室内装備・機能、6.お手入れのしかた、7.万一の場合には、8.その他。各セクションには、車の安全性、操作方法、運転支援装置、車両情報などに関する情報が含まれています。また、イラストが多数含まれています。次からも検索が可能です。”

“安全性に関しては、クリアランスソナーやパーキングサポートブレーキ、S-IPAなどの装置があります。しかし、安全性についての詳細な説明がないため、改善の余地があると思われます。”

“故障時には、非常点滅灯や発炎筒、けん引などの対処法があります。しかし、故障時についての詳細な説明がないため、改善の余地があると思われます。”

ドキュメントレビュー

レビュー リセット

20180226_01_01.pptx
PRIUS_取扱書202110.pdf
AI新時代 生産性革命のご提案.pptx
AI新時代 生産性革命のご提案.pptx

レビューポイント メリット 0.1
使用例 0.1
価格

ドキュメントサマリー

④ AI新時代生産性革命のご提案は、マイクロソフトが開発した大規模言語モデル(LLM)によるAIテクノロジーの活用を提案しています。このモデルは、大量の学習済みテキストデータから学習し、さまざまなタスクに対応することができます。従来のAI技術では、特定のタスクに特化したモデルを作成するために、手動でデータセットを準備したりルールを設定したりする必要がありましたが、LLMは自動的にその作業を行います。

この技術を活用することで、マイクロソフトのあらゆる製品にAI機能を搭載し、製品を一変させることができます。また、お客様のデータは高度なエンタープライズコンプライアンスとセキュリティ制御によって保護され、AIモデルのトレーニングには利用されません。

レビュー結果

⑤ 【Title】 AI新時代生産性革命についてのレビュー

【Summary】 マイクロソフトは、AI新時代生産性革命は、大規模言語モデル(LLM)によるAIテクノロジーの活用を促進しています。この技術は、学習済みテキストデータから学習し、さまざまなタスクに対応することができます。具体的な使用例として、ベネッセホールディングスが社内AIチャット「Benesse GPT」を開発し、業務効率化や商品開発に活用しています。価格については具体的な情報は提供されていませんが、マイクロソフトのクラウドサービス「Azure OpenAI Service」を活用することで、AI機能を利用することができます。

【Review1】 ソース文書には、AI技術のメリットについての説明があります。AI技術のメリットとしては、より多くの情報にアクセスできることや、顧客コンテンツの要約やアドバイス、教育サービス、プランニングサービスなどの提供が挙げられます。この点については、具体的な事例や効果についての説明があるとより説得力があると言えます。

社内ドキュメントのレビュー Type 2

レビューポイントとして設計上のルールとして記載し、ドキュメントがルールに準拠しているかチェックする

SharePoint Online
のレビュー対象
を選択

ドキュメントレビュー 2

0

0

レビュー

リセット

アプリウス充電器.pdf

音声対話システム.pdf

音声認識マイクロホンの開発.pdf

クラウド移行計画書サンプル.docx

レビューポイント

アプリケーションをクラウドに移行する際のルール

1. クラウド移行の目的やメリットを記載する。
2. クラウド移行の方法やパターンを適切に選択している。
3. クラウド移行のスケジュールや優先順位が記載されている。

クラウド移行は、一括で行うのではなく、段階的に行うことが望ましいです。そのために

ドキュメントサマリー

クラウド移行計画の目的とメリットについて説明します。クラウド移行は、単にオンプレミスの環境をクラウドに移すだけでなく、ビジネスやITの課題を解決する手段です。目的の一つは運用コストの低減です。サーバの老朽化対応コストや運用コストを削減することで、コストを抑えます。また、クラウド移行によりデジタル改革を加速するメリットもあります。最新技術を取り入れて、お客様サービスや社内業務の効率化を図ることがデジタル改革の柱であり、それを実現するためにクラウド移行を行います。

移行対象には、システム基盤とアプリケーションがあります。システム基盤では、オンライン環境にインスタンスを追加し、バッチ環境では既存のジョブ管理を利用します。また、DB環境では既存のPDBにスキーマを追加します。アプリケーションでは、オンライン機能、バッチ機能、バッチジョブ

レビュー結果

【Compare】
クラウド移行のルールに違反する点を指摘します。

1. ルール文書のルール1に違反
ソース文書では、クラウド移行の目的やメリットについて説明されていますが、具体的な記載がなく、ルール文書のルール1に違反しています。ルール文書では、クラウド移行の目的やメリットを記載することが求められています。
2. ルール文書のルール2に違反
ソース文書では、クラウド移行の方法やパターンについて説明されていますが、適切な選択方法や要件に応じた選択の記載がなく、ルール文書のルール2に違反しています。ルール文書では、クラウド移行の方法やパターンを適切に選択することが求められています。

レビューポイント
を指定

レビュー
結果

操作体験 おまけ

自然言語で数値データを検索する

ご参考：Fabric Copilot 目指すイメージ

必要なデータを自然言語で入力して下さい

売上上位 5 件と顧客 ID

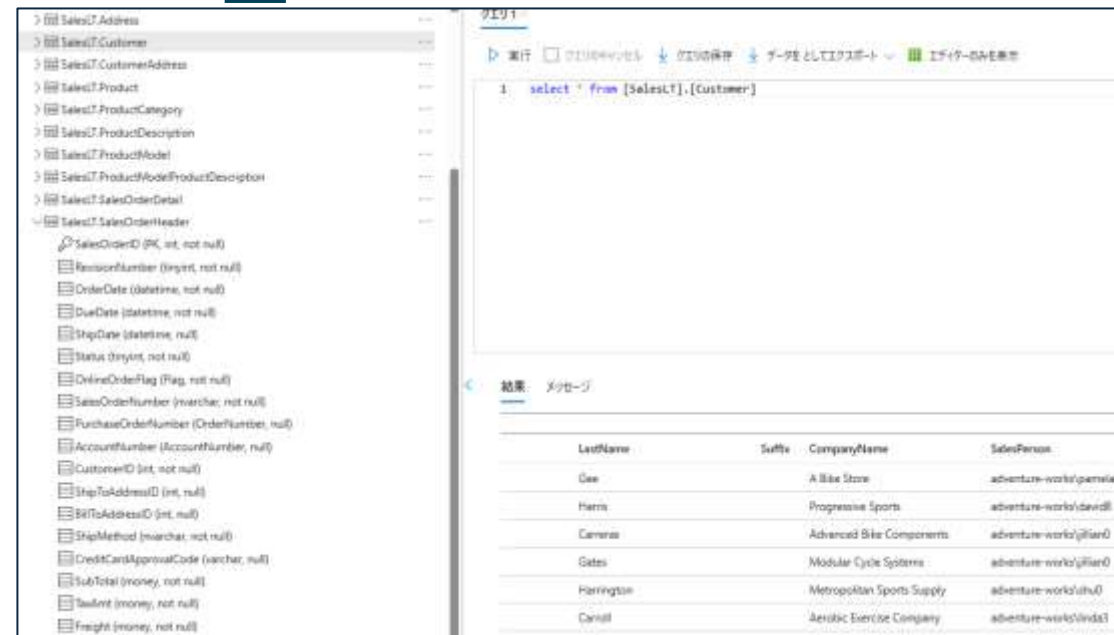
Run

売上上位 5 件と顧客IDは以下の通りです：

1. 売上額：108,561.8317 顧客ID：29,736
2. 売上額：98,278.691 顧客ID：30,050
3. 売上額：88,812.8625 顧客ID：29,546
4. 売上額：83,858.4261 顧客ID：29,957
5. 売上額：78,029.6898 顧客ID：29,796

リセット

特定のテーブルから必要なデータを検索



The screenshot shows a data query interface. On the left, a list of tables is displayed, including SalesLT.Address, SalesLT.Customer, SalesLT.CustomerAddress, SalesLT.Product, SalesLT.ProductCategory, SalesLT.ProductDescription, SalesLT.ProductModel, SalesLT.ProductModelProductDescription, SalesLT.SalesOrderDetail, and SalesLT.SalesOrderHeader. The SalesLT.SalesOrderHeader table is expanded, showing fields like SalesOrderID, RevisionNumber, OrderDate, DueDate, ShipDate, Status, OnlineOrderFlag, SalesOrderNumber, PurchaseOrderNumber, AccountNumber, CustomerID, ShipToAddressID, BillToAddressID, ShipMethod, CreditCardApprovalCode, SubTotal, TaxAmt, and Freight. On the right, a SQL query is entered in a text area: `select * from [SalesLT].[Customer]`. Below the query, a table of results is displayed with columns LastName, Suffix, CompanyName, and SalesPerson. The results show the top 5 customers by sales amount.

LastName	Suffix	CompanyName	SalesPerson
Gee		A Bike Store	adventure-works/pamela0
Harris		Progressive Sports	adventure-works/david0
Carmichael		Advanced Bike Components	adventure-works/jillian0
Gates		Modular Cycle Systems	adventure-works/jillian0
Harrington		Metropolitan Sports Supply	adventure-works/uh0
Carroll		Aerobic Exercise Company	adventure-works/linda0

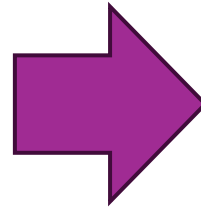
- ① 「売上合計」を入力し
- ② 「Run」をクリックします => 売上合計データが表示されます

必要なデータを自然言語で入力して下さい

売上合計 ①

Run ②

リセット



必要なデータを自然言語で入力して下さい

売上合計

Run

提供されたデータに基づいて、売上合計は865,433.1171です。

リセット

- ① 「売上上位 5 件」と入力し
- ② 「Run」をクリックします => 売上上位データが表示されます

必要なデータを自然言語で入力して下さい

売上上位 5 件

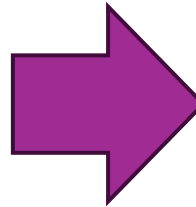
①

Run

②

提供されたデータによると、売上合計は865,433.1171です。

リセット



必要なデータを自然言語で入力して下さい

売上上位 5 件

Run

提供されたデータによると、売上合計は865,433.1171です。

以下は「売上上位 5 件」のデータです：

1. 売上額：108,561.8317
2. 売上額：98,278.691
3. 売上額：88,812.8625
4. 売上額：83,858.4261
5. 売上額：78,029.6898

リセット

① 「売上上位 5 件と顧客」と入力し

② 「Run」をクリックします => 売上上位の顧客ID データが表示されます

必要なデータを自然言語で入力して下さい

売上上位 5 件と顧客

①

Run

②

提供されたデータによると、売上合計は865,433.1171です。

以下は「売上上位 5 件」のデータです：

1. 売上額：108,561.8317
2. 売上額：98,278.691
3. 売上額：88,812.8625
4. 売上額：83,858.4261
5. 売上額：78,029.6898

リセット

必要なデータを自然言語で入力して下さい

売上上位 5 件と顧客

Run

以下は「売上上位 5 件」のデータです：

1. 売上額：108,561.8317
2. 売上額：98,278.691
3. 売上額：88,812.8625
4. 売上額：83,858.4261
5. 売上額：78,029.6898

売上上位 5 件と顧客は以下の通りです：

1. 売上額：108,561.8317、顧客ID：29,736
2. 売上額：98,278.691、顧客ID：30,050
3. 売上額：88,812.8625、顧客ID：29,546
4. 売上額：83,858.4261、顧客ID：29,957

リセット

- ① 売上 Top の 顧客 ID をコピーし「顧客ID 29,736 の顧客情報」と入力し
- ② 「Run」をクリックします => 該当する顧客情報 データが表示されます

必要なデータを自然言語で入力して下さい

顧客ID 29,736 の顧客情報

①

Run

②

以下は「売上上位 5 件」のデータです：

1. 売上額：108,561.8317
2. 売上額：98,278.691
3. 売上額：88,812.8625
4. 売上額：83,858.4261
5. 売上額：78,029.6898

売上上位 5 件と顧客は以下の通りです：

1. 売上額：108,561.8317、顧客ID：29,736
2. 売上額：98,278.691、顧客ID：30,050
3. 売上額：88,812.8625、顧客ID：29,546
4. 売上額：83,858.4261、顧客ID：29,957

リセット

必要なデータを自然言語で入力して下さい

顧客ID 29,736 の顧客情報

Run

4. 売上額：83,858.4261、顧客ID：29,957
5. 売上額：78,029.6898、顧客ID：29,796

顧客ID 29,736 の顧客情報は以下の通りです：

- 顧客ID: 29,736
- 名前スタイル: false
- 敬称: Mr.
- 名: Terry
- ミドルネーム: null
- 姓: Eminhizer
- 接尾辞: null
- 会社名: Action Bicycle Specialists
- セールス担当者: adventure-works\jae0

リセット

実現方法

社内情報検索 で SharePoint 検索しましたが、今回は SQL 検索に置き換え

- ① 必要なデータの入力情報から ChatGPT で SQL 文を生成
- ② SQL 実行
- ③ SQL 実行結果を ChatGPT に渡し回答文を生成

必要なデータを自然言語で入力して下さい

顧客ID 29,736 の顧客情報

Run

4. 売上額 : 83,858.4261、顧客ID : 29,957
5. 売上額 : 78,029.6898、顧客ID : 29,796

顧客ID 29,736 の顧客情報は以下の通りです :

- 顧客ID: 29,736
- 名前スタイル: false
- 敬称: Mr.
- 名: Terry
- ミドルネーム: null
- 姓: Eminhizer
- 接尾辞: null
- 会社名: Action Bicycle Specialists
- セールス担当者: adventure-works\jae0

リセット

以下のデータを「顧客ID 29,736 の顧客情報」として回答して
#データ :
[{"CustomerID":29736,"NameStyle":false,"Title":"Mr.,"
FirstName":"Terry","MiddleName":null,"LastName":"E
minhizer","Suffix":null,"CompanyName":"Action
Bicycle Specialists","SalesPerson":"adventure-
works\jae0","EmailAddress":"terry1@adventure-

SQL 生成

```
SELECT * FROM SalesLT.Customer WHERE  
CustomerID = 29736;
```

SQL実行

```
[{"CustomerID":29736,"NameStyle":false,"Title"  
:"Mr.,"FirstName":"Terry","MiddleName":null,"  
LastName":"Eminhizer","Suffix":null,"Company  
Name":"Action Bicycle  
Specialists","SalesPerson":"adventure-
```

回答生成

Microsoft Fabric で提供予定の機能

(自然言語でデータ取得)

The screenshot displays the Microsoft Fabric user interface. On the left, a sidebar contains a 'Data explorer' panel with a search bar and a tree view of data assets. The tree view is expanded to show 'Lakehouses' > 'Sales lakehouse' > 'Tables', which includes 'Calendar', 'Geography', 'Revenue', and 'Vendors'. Below this are 'Files', 'Silver lakehouse', 'Warehouses' (with 'Finance warehouse' and 'Online Purchases'), and 'Datasets' (with 'Customer reviews' and 'Marketing data'). The main area features a chatbot interface with a header 'Sales marketing chatbot' and a search bar. The chatbot greets the user as 'Hi Anna, I am the Contoso Sales and Marketing assistant' and asks 'How can I help you today?'. Two sample queries are shown: 'Can you help me find my team's revenue for Q1 2023 across EMEA and LATAM?' and 'What % of online purchases were Contoso products in APAC?'. The chatbot responds with 'Sure, I'd be happy to help with that! The team's revenue for Q1 2023 across EMEA and LATAM is \$450,000 USD.' and '12% of all online purchases in APAC were Contoso products.'.

Sales marketing chatbot

Search

Home View

New AI project

Data explorer

Search

Lakehouses

- Sales lakehouse
 - Tables
 - Calendar
 - Geography
 - Revenue
 - Vendors
 - Files
- Silver lakehouse

Warehouses

- Finance warehouse
- Online Purchases

Datasets

- Customer reviews
- Marketing data

Hi Anna,
I am the Contoso Sales and Marketing assistant
How can I help you today?

Can you help me find my team's revenue for Q1 2023 across EMEA and LATAM?

Sure, I'd be happy to help with that! The team's revenue for Q1 2023 across EMEA and LATAM is \$450,000 USD.

What % of online purchases were Contoso products in APAC?

12% of all online purchases in APAC were Contoso products.

データソースとプロンプトを定義する事で実現

The screenshot displays a software interface for configuring an AI prompt. The top navigation bar includes icons for settings, document, project management, and various tool functions like 'New AI project', 'Design prompt flow', 'Add AI Model', 'Parameters', 'Manage access', 'Test', and 'Sensitivity'.

Select Data Context

- ☒ Existing data
- ☐ Add data

Search and discover data

- ▼ Lakehouses
 - ☐ Landing Zone
 - ☒ Sales lakehouse
 - ☐ Calendar
 - ☐ Geography
 - ☐ Revenue
 - ☐ Vendors
 - ☐ Silver lakehouse
- ▼ Warehouses
 - ☒ Finance Warehouse
 - ☒ Online Purchases
- ▼ Datasets
 - ☒ Customer reviews
 - ☐ Marketing data

Raw prompt

This is the raw chat prompt transcript formatted for the API

```
[prompt_ln_start]>pre-processing
You are a marketing assistant to help with sales and
marketing related questions and to help users generate ideas
and content like marketing emails, blog posts, tweets, ad
copy and product descriptions. You write in a friendly and
professional tone. If you do not know the answer to a
question, respond saying: "I do not know the answer to your
question."
[prompt_ln_end]
[prompt_ln_start]>userID
Can you help me find my team's marketing budget for
e-commerce add sales for Q1 2023?
[prompt_ln_end]
```

+ Add pre-processing prompt
+ Add post-processing prompt

Add pre-processing prompt

☐ View code

Name step

You are a marketing assistant to help with sales and marketing related questions and to help users generate ideas and content like marketing emails, blog posts, tweets, ad copy and product descriptions. You write in a friendly and professional tone. If you do not know the answer to a question, respond saying: "I do not know the answer to your question."

Add

Flow Diagram:

```
graph LR
    UserInput[User input] --> PreProcessing[Pre-processing-tone]
    DataContext[Data context] --> PreProcessing
    PreProcessing --> QueryLLM[Query LLM]
    QueryLLM --> Output[Output]
```

操作体験はここまで